

プレママインフォメーション

取材協力／福田病院

第35回

増加する“児童虐待”。その問題解決に向け産婦人科として、新たな取り組みが進んでいます

「母子サポートセンター」

高度で最先端の医療の提供、人間的で温かい医療の提供、医療を通じて地域の人々の幸せに貢献すること、この3つを理念に掲げ、110年の歴史を重ねる福田病院。昨年10月には、さまざまな問題を抱えた妊婦さんを支えるべく「母子サポートセンター」を開設しました。今回は、その取り組みについてご紹介します。

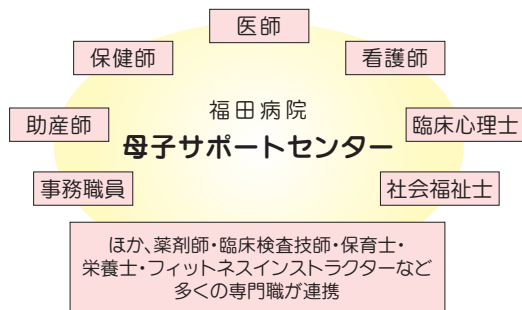
身体的・精神的・経済的・社会的に問題を抱える妊婦さんのために
病院内の全職員が“サポーター役”として、連携・協力しながら支援



左から／特別養子縁組担当部門部長・社会福祉士の鞘川さん、社会福祉士の日高さん、臨床心理士の榎さん、地域連携室室長の森さん

大きな社会問題のひとつに上げられる児童虐待。とくに児童虐待の死亡事例のうち約4割が乳幼児で、その9割が出生直後の新生児であり、加害者の多くが実母というデータがあります。望まない妊娠や貧困、家庭内暴力…、児童虐待につながりかねない問題を抱えた妊婦さんに寄り添い、大切な命を守りたいとの想いから、昨年10月に新設されたのが「母子サポートセンター」です。

日本産婦人科医会では、全国の産婦人科医に児童虐待防止に向けた取り組みを呼びかけ、医学的だけでなく、社会的・経済的・精神的に問題のある妊婦さんをサポートする体制を強化すべく動き始めていま



す。福田病院ではこれまでも「地域連携室」が中心となり、社会福祉士がさまざまな相談に対応していました。この「母子サポートセンター」の開設により、医療スタッフから事務職まで全職員が参加し、問題解決の糸口を見つけるべく連携しています。

「母子サポートチーム」での個別ケース対応も

児童福祉法では「出産後の療育において支援を行うことが特に必要と認められる妊婦」を特定妊婦と定めています。院内の産婦人科や小児科、病棟、相談窓口である「ゆうかり倶楽部」など、直接妊婦さんに対応する部署から、チェックリスト等により支援が必要な特定妊婦等であると思慮

され、専門的対応が望ましいと判断された場合には、医療・心理・社会関係など各分野の専門家で「母子サポートチーム」を作り対応。昨年10月から3月末までの期間に36の事例があり、実親による子育ての支援、特別養子縁組のあっせん、施設入所手続きなど、母子のためにはどのような対応が適切か検討されてきました。

産婦人科は妊娠中から定期的に通う場所であり、さまざまな相談事ができる場所です。医療機関であると同時に、妊娠・出産・子育ての総合窓口として、その使命感はさらに高まっています。

児童健全育成・児童虐待防止のためのオリジナルの手引書「母子サポートブック」

「母子サポートセンター」の取り組みを支える柱のひとつに「母子サポートブック」があります。約100ページにわたり、院内総合相談援助体制の整備について、妊娠経過各期における対応チェックリスト、各部門の役割などが書かれています。これにより職種や部署の垣根を超え、職員が共通の認識を作り上げ、連携も強化されます。



各部署の職員はこの「母子サポートブック」をもとに“サポーター”としての役割を実践



多くの専門職が情報を共有することで
お一人おひとりに合った支援の方法や
問題解決に向けた広い視野が開けています。
自分だけで悩みを抱え込まず、
勇気をもって私たちにお話ししてください。

まずは、カードに貼る
記念写真の撮影から
兜の前で「はいチーズ」。貴重なマタニティフォトは、出産後に見返す人も多数



お腹の赤ちゃんを祝う「0回目の端午の節句」

5月2日には、今年で24回目となる「0回目の端午の節句」イベントが開催されました。男の子を出産予定の妊婦さん20人が賑やかに集い、鯉のぼりや兜の折り紙やデコレーショングッズを使って、オリジナルのメッセージカード作り挑戦。お腹のわが子に想いを馳せながら、病院スタッフとコミュニケーションを深めたり、妊婦さん同士情報交換したり…、リフレッシュしたひと時を過ごされていました。

私たちが皆さんと同じプレママです！

家族4人分の鯉のぼりがスイスイ

“早く会いたいね”
“来年は一緒に…”
メッセージを考える時間は真剣



健診時や入院中にお世話になるスタッフと顔見知りになっておく貴重な時間。このイベントを企画運営しているスタッフの中にも2人のプレママさんがいました。「一緒に楽しく頑張りましょうね!」



テーブルごとに和気あいあいと進められる約1時間の制作風景。自宅から上のお子さんの写真を持参して一緒に貼っているママや、アイデア次第でデザインも人それぞれ。最後にメッセージ記入…となると、皆さん一生懸命わが子への想いをつづっていたのが印象的でした



特製スイーツ「紫いものモンブラン」のご褒美とともにコーヒーブレイク
ケーキの鮮やかさに感動して、スマホで撮影！モンブランに添えられているクッキーには万次郎かぼちゃを使用するなど、パティシエのこだわりが凝縮しています

